

「一枚ポートフォリオ」の分析と有効性

「一枚ポートフォリオ」記述内容の分析

- 前時よりも本時のほうが、読み取りが深くなっている。
- 学習することに、その意義を見いだしている。
- 学習への達成感・満足感が感じられる。
- 自分自身の変化に気付いている。
- 読解力が高まったという自己の変容を自覚できている。
- 読み取ったこと、自分の思いや考えなどを、書くことを通して表現できるようになってきている。
- 次の学習への意欲付けが図られている。
- 班での話し合いや全体での話し合いなどの協働学習に価値を見いだしている。

このような成果は、「一枚ポートフォリオ」という手法だけによるものではありません。着目すべきキーワードをもとにした読解学習が成立していたからこそこの成果です。教室中に、自分の思いや考えを表現したいという熱気が充満していたからこそ成し得たことです。

その一方で、「一枚ポートフォリオ」という手だてを講じていなければ、これほどまでに、生徒自身が自己の変容を自覚できることはなかったのではないのでしょうか。たった一枚のシートではありますが、生徒は、その中での自分の変化に気付きながら学習を進めていくことができます。教師も、自分の授業を評価しながら、指導を進めていくことができます。

生徒の中には、今回の詩の授業で自分が変わったと感じている人もいます。いつも、このような授業を展開できていたなら、国語教師としては幸せなことでしょう。

「一枚ポートフォリオ」の有効性

今回の実践を通して、「一枚ポートフォリオ」の有効性を探ってきましたが、予想以上に成果があがると言えます。生徒の記述内容が、そのことを証明しています。今回は、詩の授業において、「一枚ポートフォリオ」を取り入れましたが、この手法には、まだまだ開発の余地があり、発展性も秘められています。

今後は、この手法の有効性をいかに高めていけるかが課題です。そして、どのくらい自己の変容を自覚できる生徒を増やしていけるかが重要です。以下は、「一枚ポートフォリオ」の有効性を裏付ける生徒の文章です。

最初と比べて、考え方が深くなってきていると思う。まとめ方は、けっして上手ではないが、自分の考えをすらすらと書けるようになった。今まで自分には、文章力がないし、自分の考えに自信がもてなかったが、意見や考えをたくさん書いていくにつれて、自分にも「こんな考えが書ける力がついたのか」と感じた。

詩を読む楽しさ、その詩を深く追求する楽しさを知った。